



NPO法人 はぴふる

ある日の はぴふる・変更編・

月に2回、サンア
ビリティーズ今治
でダンスや卓球を
楽しめます。
「いざ出発〜♪」

**急な
変更**

「急な予定変更は苦手」という
方が多くいらっしゃいます。
なのに・・・

「今日じゃなかった！」
と、会場に着いてから
間違いに気づく・・・

**予定を変更して
おやつを買って帰ろう**

**伝える
1**



個々のスケジュールカ
ードから中止になる活
動をのける「ダンス
なし（中止）」等

**伝える
2**

今度は
いつあ
るのか

「日にちを
間違えた。
ごめんなさい」

**変更の
理由**

・それぞれの方に必要な情報を伝える

**その後
の予定**

**大切な
こと**

何が 変わるのか。
どう 変わるのか。
理由は何か。

誠意を持って、分かる範囲でしっ
かり伝えること。苦手だからこそ丁寧
に伝えたいと思います。

・ご寄附・

藤岡紀子様 匿名希望 3名様
皆様の暖かいご支援に、
心よりお礼申し上げます。

・賛助会員・ ご加入ありがとうございました。

瑞光寺様 藤井物産株式会社様 檜垣邦子様 西原菜穂子様
津吉英之様 大木利治様 木本高枝様 青野孝子様 藤渕臣子様
高野英世様 森松政城様 村上通章様 匿名希望 2名様
■賛助会員募集中 個人・団体…各 2,000円 (一口)

はぴふるてきな話

とうとう老眼鏡を使い始めた…そんな四捨五入すると50歳の私。一人息子は2歳の時に自閉症と診断され、四捨五入すると20歳になる。息子が幼児期、色々な事が不安で、自閉症の子供さんがいる先輩お母さんの講演会があると聞きに行った。色々勉強になった。その中で、お母さん方へのアドバイスとして、自分の好きな事、趣味でも好きな芸能人でもなんでもいいから子供とは関係ない時間を作った方がいいと、みなさん口をそろえておっしゃった。それを聞いた時いつも私は、そんな無理だよ！うちの子は目が離せないし時間も経済的な余裕も精神的な余裕もないよ！と、このアドバイスは自分には当てはまらないと思っていた。

ところがである…。

ワタクシ、昨年、ある10代の有名人に夢中になってしまった！！夜遅くまで彼の動画やファンの人のブログ巡りをし、底なし沼に足を突っ込んでしまった。彼に起こった色々な事に一喜一憂し、ええ子やねえ、よく頑張ったねえと涙し心配し完全に“オカン”状態。写真集、DVD、カレンダー、雑誌…どんどん増えていく。(ポスターだけは未だ貼る勇気がない)携帯の待ち受けも息子から彼に変わった。いや～楽しくてしょうがない！元気になる！彼みたいに頑張ろうと思う！私が長時間パソコンを使ってるものだから、言葉で伝えることができない息子は、パソコン右上の×印を指さすようになった。そんな時ふと思った。息子が小学生の頃パソコンをずっとしているので、何とかして終わりにさせたいとタイマーや延長など色々試して苦労していたが、今ならわかる、そう簡単にやめられないよ！中途半端で終われないよ！だよ。私が終わるのは後でまた見れるのがわかってるから、いつ続きができるのかわかるから。←この肝心な事をきちんと具体的に伝えずただ息子に終わりをさせていた気がするなあと反省した。そして、モチベーションですごく大事だなと改めて感じた。彼に関する物を買いたいと思うと(たくさんありすぎて…)夜遅くまで仕事しても頑張ろうと思うし、お給料もらうと今まで以上に嬉しかったりする。いつか彼を見に行きたいと思って日々頑張っている私。(チケットムツクシ…)息子にも、仕事頑張る→お給料もらえる→好きなものが買えるというのをわかってほしいなと思う。

今、自分の好きな事をする時間を作った方がいいという先輩お母さんのアドバイスはよくわかる。決して息子が目が離せるようになったわけではなく、時間ができたわけでもなく、経済的な余裕ができたわけでもない。でも、自分の時間(内容はどうであれ)を持つようになって、ダラダラ過ごしていたのが変わった気がする。イライラが少なくなった気がする。(だって彼の笑顔見るとめっちゃくちゃ癒されるんだもん♡)とにかく精神的に元気になった。それにしても、この歳で10代の子に夢中になるとは…人生わかんないなあ(苦笑)

(Y)

活動

■出張報告(西条) 12月14(木)

庭の草引きの依頼いただきました。

初めてのお宅ですが、スケジュールで一日の流れを確認し、現場では担当の場所をロープで区切りました。



■年の瀬 12月29(月)

大掃除で窓拭きをしました。開始はそれぞれのペースで、終了後も各々にパフェを作りました。

■初詣 1月8日(木)

いつもお世話になっている波止浜の瑞光寺さんへお参りに行かせていただきました。



私たちは『障がいを持つ人も持たない人も、ともに寄り添い、皆が生涯を通して幸せな日常生活が送れるように支援していきます。』